

団体の基本情報

活動概要

全国の法人格を有する訪問看護ステーションを対象に、保険外訪問看護サービスをはじめとする訪問看護の質向上と健全な発展を支援する業界団体。経営改善支援・専門人材育成・業界ガイドライン策定・政策提言を4本柱とし、医療と介護の橋渡し役として多職種・地域・行政との連携を推進。超高齢社会において「すべての人が住み慣れた地域で自分らしく生きる」社会の実現を目指す。

会員企業数

14社（昨年：12社）

Webページ

<https://kango.or.jp/>

ガイドラインの概要

ガイドライン名

訪問看護ステーションにおける保険外訪問看護ガイドライン

概要

訪問看護ステーションが保険外サービスを安全・適切に提供するための業界初の自主ガイドライン。①透明性（ガイドラインの公開・策定プロセスの開示）、②客観性（エビデンスに基づくサービス品質の担保）、③継続性（事業継続対策・人材育成体制の整備）の3つの観点を柱として策定。「保険外看護サービス認証委員会」による第三者認証制度を導入し、医療・法務・経営・消費者保護の有識者が評価を行う仕組みを設けている。

ガイドラインURL

<https://kango.or.jp/service/guideline/>（予定）

ガイドラインに係る今年度の活動実績

活動実績

① 利用者・仲介者の声を聞き、ガイドライン策定に生かす活動

ケアマネ三田会を通じ、連合三田会（慶應義塾大学OB・OGの集まり）にてブース出展を実施（2023～2025年）。ケアマネジャー・利用者層から保険外訪問看護に関するニーズ・意見を継続的に収集し、ガイドライン策定の議論に反映した。葬儀社を仲介者として、訪問看護ステーションによるエンゼルケア（保険外サービス）に関する実態調査を150名以上に実施。結果を在宅ケア学会にて発表し、エビデンスとしてガイドライン策定に活用した。

② ガイドラインの認知・理解を広げる活動（研修・イベント）

「第一回 未来志向の訪問看護研修会 IN 兵庫」を兵庫県看護連盟と共催。（右画像）厚生労働省訪問看護推進室・初村恵室長を招き、約70名が参加。

訪問看護推進室発足後初の訪問看護向け登壇として注目を集めた（2025年4月）。

「BOCフォーラム2025 in 福岡」を主催。在宅医療・病院医療・地域ケアをつなぐことを目的に、医療・介護・歯科・福祉の多職種が参加。

次世代型歯科医療MaaS車両『O-Gai』の展示・体験デモも実施。

